

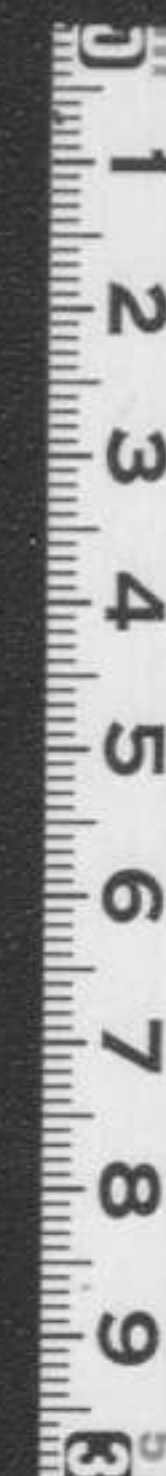
鑒定後川律法

下

漢書門				
一	四	八	六	八
二	五	七	八	八
冊	架	函	號	類

庫文閣内			
八	四	八	八
函	冊	架	類

内閣文庫		
番號	和 14868	
冊數	2 (2)	
函號	179	166



田島象二編纂

盜寶庫金銀

磔未夕得卅九者ハ皆引廻シノ上梟首。例女化十二

常人盜

凡御城内役局ニ於テ盜ヲナシ。因テ火ヲ放ツ者

八
皆磔。
二文
例化十

国立公文書館
National Archives of Japan

無宿
真刀
徳次郎
西三六

成者或奥州常陸
上總上野下野武
州安東動向
近國を、教百
は悉く入る強盗
然し送中、身月
より、徳符、建帶
刀、野、若
一、匠、又
強盗賊を、若黨
伝五、同、
う、
之、
用、
を、
我、

凡御城内役司ニ於テ窃盗ヲナス者ハ皆引廻シ
ノ上、成罪。安永三〇天明八例

凡御城外各役廳、及ビ上野山王根津權現等ノ門
扉、廻廊ノ飾具ヲ盗ム者ハ皆成罪。文化五〇未ダ
明和八例

強盗

得ザル者ハ皆黥ノ上重敲。
凡強盗兇器ヲ持セズ親ラ門戸ヲ開イテ室ニ入
者ハ財ヲ得ル得ザルヲ論ゼズ首ハ梟示、從ハ死
罪、其兇器ヲ持シ人ヲ殺ス者ハ財ヲ得ル得ザル
ヲ論ゼズ首ハ引廻シノ上梟示、從ハ成罪、人ヲ傷

百姓、
合、
を、
繩、
持、
を、
金、
華、
品、
奔、
伊、
者、
サ、
多、
食、
切、

百姓、
合、
を、
繩、
持、
を、
金、
華、
品、
奔、
伊、
者、
サ、
多、
食、
切、

スル者ハ財ヲ得ル得ザルヲ論ゼズ梟示。享保七

凡強盗人家へ潜入シ倉庫ヲ破毀スル者ハ賊ノ
多少ヲ論ゼズ死罪。享保五

凡強盗兇器ヲ持シ途ニ要シ人ヲ劫シテ衣類財
物ヲ得者ハ梟示。若、棒杖刀首ヲ持スル者ハ成罪

凡強盗五犯以上人ヲ劫シテ財ヲ得ル者ハ引廻
ノ上梟示。天保三例

凡強盗脅誘セラレ畏懼隨行シテ止ダ外ニ在テ
蹲踞シ財物ヲ接遞シ賊ヲ分ツ者ハ答ノ上輕追

放半途ニシテ畏懼遁避スル者ハ答。文政七例

凡強盜五犯以上。門戸ヲ開カントシ。或ハ兇器ヲ以テ窓戸ヲ除カントシ。一モ入ルヲ得サル者。遂ニ在テ捕ニ就キ。盜情明白ナル者ハ黥ノ上重笞ニ例

竊次皿

遁々小盜賊！其
盜盜者不致育
比方又作小盜賊
上主盜賊出議吟
味々上澄和母々
月知あてハふりて路
二在ルも金高十兩
以上より死罪

凡竊盜途上ニ於テ小員數ノ物品ヲ盜ム者ハ。笞
五保。橋梁及ビ門扉ノ飾鉄具ヲ盜ム者ハ。黥ノ上
重笞。未タ盜マザル者ハ重笞。安永五例
凡竊盜。人家人ナキヲ窺ヒ。及ビ睡眠。又ハ失火ニ
乘シテ財ヲ得ル者ハ。皆黥ノ上重笞。文政十二例
其臨時捕ヲ拒キ。及ビ吏主覺逐スルニ財ヲ棄テ
逃走スルヲ追逐シ。曰テ捕ヲ拒グニ事主ヲ撲ツ
者ハ黥ノ上重笞。寛政〇例
私縦私犯スル者ハ叱リ。若シ盜犯。死刑ニ諛レバ
輕過料。

の
文政八一年に於て
能く外一人に
の上中進叙

一利欲を逞み遊
女揚代を以て
取らるる者
續類集八編
八百八十八年
奉り廻
發着傳馬町
持紋二部八墨
の上叙

例

凡遊女屋。強テ遊女。及ビ飲食ヲ勸メ。揚代並ニ飲
食ニ附掛シ。財ヲ勒索スル者ハ。黥ノ上答。文政八例

詐欺取財

凡官司ニ關係ヲ有スト詐欺シ。研訊上ノ事ニ就
テ賤ヲ取ル者ハ。流罪。享和元例

凡船子其寄託ヲ受ル所ノ荷物ヲ打荷。或ハ破船
ト称シ詐欺スル者。及ビ颶ニ遭ヒ打荷シ。遺存ノ
荷物ヲ詐取スル者ハ。船長上乗ハ並ニ引廻ノ上
臬示。水夫ハ皆黥ノ上重答。若シ其沿海ノ里正同

ウミニシ

百ヶ條目ニ曰ク
極貧もの其子
を同輩とて遺
放養父又外
の一人を引
一娘を引賣女
連帰めし
安永七戌年
惣牢曲淵里
鉦り本所長岡町
茂八五五五
如浅草獄門

謀シテ浦證状ヲ與ヘテ。賊ヲ分ツ者ハ。其地ニ於
テ臬示。其賊ヲ倉庫ニ預リ。賊ヲ分ツ者ハ死刑。窩
主ヲ為シ賊ヲ分ツ者ハ流刑。運搬シ賊ヲ分ツ者。
首ハ重追放。従ハ應身代重過料。寛保三

畧賣人

凡人ヲ略賣シテ遊女トスル者ハ死刑。媒介シテ
賤ヲ得ル者ハ。重追放。買取スル者ハ身代金ヲ損
失。寛保
二。蒼頭トスル者ハ。重追放買取スル者ハ百
日手鎖。天明
七例。牙保ハ五貫文過料。
凡子孫ヲ略賣シテ遊女トスル者ハ。成否ヲ論セ

ズ梟示。安永七例

盜賊窩主

凡強盜ノ窩主共ニ謀テ造意セズト虽モ。賊ヲ分
テ并ニ典賣ノ媒介スル者ハ死罪。元文五又賊ヲ分
タザル者ハ重追放。若シ盜犯磔ニ該レバ成罪。寛保
ニ

凡竊盜ノ窩主共ニ謀テ造意セスト虽モ。賊ヲ分
ツ者ハ答。分タザル者ハ本籍逐釋。

凡盜賊タル者ヲ知テ。典賣ノ牙保ヲナシ。及ビ寄
藏スル者ハ。答。其盜賊タルヲ知ラズト雖モ。出所

ヲ糾サズ。典賣ノ牙保ヲ為ス者ハ過料。武家ハ江
戸逐釈。僧徒ハ三十日乃至五十日逼塞。

凡典舖。盜賊タルヲ知ラズト虽モ。牙保ナクシ
テ典買スレハ物ヲ追シテ本主ニ給シ。仍ホ過料。

若シ牙保及ビ回歷ヲ借ス者アレバ。價ヲ追ノハ

シム。其償フ事能ハザル者ハ直チニ。典舖ヨリ追

ス。享保六〇元文五

凡盜賊ト知ラズ。買取スル者ハ物ヲ追シテ本主

ニ給ス。若シ牙保アレバ價ヲ償ハシム。其償フ

能ハザル者ハ直チニ買主ヨリ追ス。買主ヨリ追

スルノ後チ。盜犯猶ホ其金ヲ所持スルニ於テハ
其金ヲ官没ス。享保六〇元久五

凡盜賊タルヲ知テ。故買スル者ハ。本籍逐釋。再
犯以上ハ黥ノ上重追放。從來專業トセシ者ハ。成
罪。寛保元〇寛保三

凡盜賊ニ係ル落筆ヲ公布スルニ。其賊ヲ知テ故
ラニ欺隱スル者ハ。家財ヲ官没シテ江戸逐釈。寛
保二

越私度關門

凡男女俱ニ謀テ。關門ヲ越度スル者ハ。皆磔。若シ

其越度タル事ヲ知ラズ誘引サレシ女ハ坐セズ。
越度ヲ引路スル者ハ。磔。私度スル者ハ。男ハ重追
放。女ハ奴。

人命

謀殺

凡人ヲ謀殺スルニ。造意者ハ。梟尔。從ニシテ加功スル者ハ。流刑。加功セザル者ハ。中追放。寛保三若シ傷シテ成セザル。造意者ハ。死罪。從ニシテ加功スル者ハ。中追放。加功セサル者ハ。本籍逐釋。寛保三若シ謀リテ已ニ行フト雖モ未タ人ヲ傷セズ止タ放潑ニ止マル者ハ。造意者ハ。重追放。從ハ本籍逐釋。寛保三追加例

凡人ヲ謀殺スルニ。人ニ依託シ謀殺セシムル者ハ。抵死。受託者。及ビ引路スル者ハ。並ニ流刑。寛保三武家ハ依託者ハ。改易。受託者ハ。江戸逐釋。凡途上ニ要シテ。乱リニ往來ノ人ヲ殺ス者ハ。引廻シノ上死罪。

凡殿中ニ於テ人ヲ謀殺シ。及ビ傷シテ死セザル者ハ。改易ノ上自裁。

謀殺主人

凡奴婢奉公人。主人ヲ謀殺スルニ。已ニ行フ者ハ。死罪。寛保元已ニ傷スル者ハ。曝市ノ上磔。已ニ殺ス

者ハ。二日曝市。一日引廻シ鋸挽ノ上磔。若シ奴婢
主人ノ親族ヲ謀殺スルニ。已ニ行フ者ハ死罪。已
ニ傷スル者ハ引廻シノ上死罪。已ニ殺ス者ハ引
廻シノ上梟示。寛保元

謀殺祖父母父母

凡祖父母父母ヲ謀殺スルニ。已ニ行フ者ハ死罪。
寛保已ニ傷スル者ハ磔。已ニ殺ス者ハ引廻シノ
上磔。

謀殺舅伯父伯母兄姉

凡舅伯父伯母兄姉ヲ謀殺スルニ。已ニ傷スル者

ハ死罪。已ニ殺ス者ハ引廻シノ上梟示。寛保二〇元

謀殺旧主人

凡旧主人ヲ謀殺スルニ。已ニ行フ者ハ死罪。已ニ
傷スル者ハ引廻シノ上磔。已ニ殺ス者ハ曝市ノ
上磔。寛保元

謀殺受教師

凡受教師ヲ謀殺スルニ。已ニ傷スル者ハ死罪。已
ニ殺ス者ハ磔。

謀殺本屬里正

凡百姓町人。本屬ノ里正ヲ謀殺スルニ。已ニ傷ス

ル者ハ死罪。已ニ殺ス者ハ。引廻シノ上臬示。寛保ニ

家守謀殺地主

凡家守。其地主ヲ謀殺スルニ。已ニ傷スル者ハ死罪。已ニ殺ス者ハ引廻シノ上臬示。旧地主ハ一等ヲ減シ。傷スル者ハ流罪。殺ス者ハ。引廻シノ上死罪。寛保ニ

謀殺子孫弟妹甥姪

凡子孫弟妹甥姪ヲ謀殺スル者ハ。死罪故殺スル者ハ流刑。寛保ニ

殺灰姦夫

凡妻妾。入ト姦通スルニ。本夫姦所ニ於テ親ラ姦夫姦婦ヲ獲テ。即時ニ殺ス者ハ。論ズル勿レ。寛保三
若シ本夫止々姦夫ヲ殺ス者ハ。姦婦ハ姦罪。享保三
若シ姦夫姦婦。姦所ニ於テ本夫ニ撞見セラレ。獨リ姦夫。脱逃行跡ヲ失スル者ハ。姦婦ハ本夫ニ附シテ。其存意ニ行ナハレム。寛保三
其妻妾。姦ニ固リ同謀シテ本夫ヲ殺ス者ハ。皆引廻シノ上臬示。若シ姦夫自ラ本夫ヲ傷スル者ハ。引廻シノ上臬示。姦婦情ヲ知ラサル者ハ。本罪ニ科ス。寛保元

凡姦婦自ラ本夫ヲ殺スニ。其夫教唆シ。若クハ加功スレハ。梟示。

凡姦通セントレテ婦ノ寢所ニ潛入スルヲ夫撞見シテ殺ス者ハ。研訊スルニ。和姦ノ確實ナキ者ハ。強姦ヲ以テ論シ其罪ヲ論ゼズ。寛保三

若シ婚約已ニ成ル女。常人ト姦通スルヲ撞見シ男ト并セテ殺ス者ハ研訊ノ上。女ガ将来ノ行為ヲ看破セシノ情。及ビ夫家ニ謝スルノ情。確實ナル者ハ。論ズル勿レ。元文元創定

殺一家三人

凡行盜シテ。一家ノ死罪ニ非ザル。三人以上ヲ殺ス者ハ首從ヲ分タズ皆梟示。天保十一例

毒藥殺人

凡毒藥ヲ用ヒテ。人ヲ殺ス者ハ梟示。藥シテ死セザル者ハ流刑。寛保二

闘毆及故殺

凡闘毆シテ。人ヲ殺シ。及ヒ故殺スル者ハ。手足他物金及ヲ問ハズ。并ニ抵死。傷スル者ハ。中追放。瘡ハ流刑。寛保元

若シ同ク謀リテ。共ニ人ヲ毆テ。目ヲ死ニ致スニ。

最先手ヲ下ス者ハ。抵死。止タ毆スル者ハ中追放。
未タ毆ザル者ハ重過料。

若レ暴人^{イノレ}放^レ潑^シ。其身ヲ致^シ命傷セ^ニトスルニ回

テ。已ムヲ得ス殺ス者ハ。流刑。

凡武家。卒以下。輕キ百姓町人ヨリ。法外ノ暴言ヲ

以テ耻シソラレ。已ムヲ得ス殺ス者ハ研訊ス

ルニ確實ナル者ハ論スルヲ勿レ

過失殺傷人

凡過失ニテ人ヲ殺ス者ハ死。死者ノ父母親族ノ存
意ヲ尋問ノ上流刑。傷スル者ハ銀壹枚ヲ追贖シ

レ傷者ニ給シ。醫藥ノ資トナス。傷ニ因テ死ニ致ス者ハ中追放。延享元○寛保元

弓銃殺傷人

凡故ナク、弓箭銃砲ヲ放チ、入チ殺傷スル者ハ、研
訊スルニ過失ノ確實アル者ハ、過失殺傷ヲ以テ
論ズ。寛保元

若シ定タル弓箭。及ビ銃砲ノ練場域内ヲ故ナク
通過スル者ヲ殺ス者ハ三十日^{エシ}閑任^{サシ}傷スル者ハ
論スル勿シ。寛保元〇延享二

車殺_ス人_ヲ

料。知ラザル者ハ坐セズ。寛保ニ

闌
毆

闢毆

凡闘毆。手足ヲ以テ人ヲ傷スル者ハ。武家ハ江戸
逐釋。庶人ハ手鎖。仍ホ銀壹枚ヲ追贖シ。傷者ニ給
シ。醫藥ノ資トナサシム。其追贖スルコト能ハザル
者ハ。身代限ヲ以テ追贖ス。無力者ハ江戸逐釋。保享

城内忿爭

凡御城内ニ於テ。忿爭スル者。拾人以上ハ。原謀者ハ重追放。従ハ答ノ上江戸逐親。元文元

若シ官廳前ニ於テ。忿争スル者ハ各手鎖。宝曆七例

毆主人

凡奴婢奉公人。主人ヲ毆ツニ已ニ行フ者ハ。流刑

安永已ニ毆ツ者ハ。死罪。死傷ニ致ス者ハ。並ニ謀

殺ニ准シテ論ズ。享保元

其主人ノ親族ヲ毆ツ者ハ。重追放。其毆ノ造意深

キ者ハ。死罪。寛保元

毆祖父母父母

凡子孫。祖父母父母ヲ毆ツニ。已ニ行フ者ハ。流刑。

已ニ毆ツ者ハ。死罪。死傷ニ致ス者ハ。並ニ謀殺ニ

准シテ論ズ。

毆伯父伯母兄姪

凡姪。伯父伯母ヲ毆ツ者ハ。流刑。弟妹。兄姉ヲ毆ツ

者モ罪亦同。若シ死傷ニ致ス者ハ。謀殺ニ准シテ

論ズ。享保二。延享元。安永六例。享保十二例

武新幡羅郡

東方村

名主

安永六例

金花

碓氷藩

右ノ者。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

碓氷藩。碓氷藩

訴訟

訴訟

凡訴訟。不條理ニシテ研訊シ難キ事ヲ再訴スル者ハ。過料。若シ推テ他ノ府尹ヘ訴ヘ。尚ホ受理研訊ナラザルトキハ。武家寺院ハ凌錮。百姓町人ハ手鎖。享保五年

凡訴訟。受理ナリ難キ事故ヲ評定所ノ理匭ニ投スル者ハ。手鎖。三犯以上ハ。江戸逐釋。寛保元凡訴訟。裏判及ビ差紙ヲ得テ敢テ領受セザル者ハ。本籍逐釋。

凡訴訟。一旦判決ニ甘服シテ。後チ違フ者。及ビ兩造判決ヲ破毀シテ。私縱私和スル者ハ。各中追放。

強訴

凡縣令。及ビ本治ノ地頭ニ對シ。衆ヲ聚ノ強訴スル者ハ。造意ハ死罪。從ハ邨高二應シ過料。里正ハ重答。班頭ハ。田宅ヲ官没シ本籍逐釋。若シ其訴訟。理直ナレバ一酈ニ數等ヲ減ズ。寛保元

門訴

凡縣令。及ビ本治ノ地頭ニ對シ。衆ヲ聚ノ。門訴スル者ハ。造意ハ流刑。造意ニ亞ク者ハ江戸逐釋。從

ハ急度叱リ。里正役ナレバ。中追放。班頭。役ナレバ
本籍逐釋。明和ハ

誣告

凡誣テ人命ヲ告ル者ハ。重追放。情重キ者ハ流刑。
造意深重ナル者ハ。死罪。享保元

若シ誣テ告ルニ。情輕クシテ。纔ニ褒賞ヲ圖ルニ
止マル者ハ。答ノ上中追放。

干名犯義

凡奴婢奉公人。主人ノ私事ヲ告ル者ハ。實ヲ得ル
ト雖モ。流刑。明和
二例主人ノ罪ハ。治セバ。誣告スル者

ハ磔。若シ公儀ニ干渉スル。重事ヲ告ル者ハ。實ヲ
得レバ。主人ノ罪一等ヲ減シ。告者ノ罪亦數等ヲ
減ズ。子孫ノ祖父母父母ヲ告ル者モ亦此例ニ依
ル。延享元

詐偽

偽造寶貨

一似南鐐銀持
此等出来方室
うへに
考へるもの
文化五年
五月二無病者
五引起
上を
上を

凡宝貨ヲ偽造スル者ハ。己ニ行使スルト未ク行
使セザルト問ハズ。引廻シノ上磔。延享情ヲ知
テ買仕スル者ハ死罪。文政十
ヨリ受ケ。後ヲ偽造タルヲ知テ。一時物價ノ揺當
トナス者ハ。三十日手鎖。明和八例
凡封金ヲ偽造スル者ハ。金壹兩以上ハ死罪。寛政
偽造官繪符
凡官ノ繪符ヲ偽造シ。使行シテ財ヲ得ル者ハ梟

示。

偽造斛斗秤

凡斛斗。秤ヲ偽造スル者ハ。引廻シノ上梟首。若シ
斛斗ノ方寸。秤量ノ標星式ニ違ハサレバ中追放
寛保二

偽造朱及朱墨

凡朱。及ビ朱墨ヲ偽造スル者ハ。家財ヲ官没シテ
本籍逐釋。寛保二

謀書謀印

凡謀書謀印シテ。財ヲ取ル者ハ。引廻シノ上梟首。

西元火一、
野
若者享保十七
年若若云即藏
浪人ニ官官次方
ト金ニ倍ハ即
ニ配中目付ニ
出テ入用ニ由
シ候ハ形文書
認メ入用ニ由
致一不即申付
ニ即或取申付

加印スル者ハ成罪。情ヲ知テ文書ヲ造ル者ハ重
追放。享保二若シ謀書謀印ニ非ト虫モ金錢ヲ借ル
ニ官吏。又ハ主人。或ハ本属長者ノ名ヲ冒用記入
スル者ハ成罪。情ヲ知テ貸ス者モ亦同罪。享保十
七例
詐称官許
凡官許ヲ得ザル事ヲ得ルト詐称シ。會社ヲ設立
シ。及ビ官許ノ標牌ヲ掲クル者ハ。家財ヲ官没シ
テ本籍逐釋。延享元

詐稱執政家人

凡執政ノ家人ト詐称シ。財物ヲ勒力スル者ハ成

罪。享保二

偽造藥種

品川利高
丸屋七五郎
方ニ居ル
権人
元四
享保十五年
元四
源人參々中修
作云樹々々々
中合金子樹取
り服々々々々死
罪々々

凡偽造藥種。人命ニ關スル。内用藥ヲ偽造シ。財ヲ
賣ル者ハ。引廻シノ上成罪。依託ヲ受テ專賣シ。財
ヲ取ル者ハ。家財ヲ官没シテ中追放。外用藥ヲ偽
造シテ財ヲ圖ル者及ビ依託ヲ受テ專賣シ。財ヲ
取ル者ハ。首從ヲ分タズ皆中追放。從前ノ例。○安永七例

假關毆圖財

凡同夥俱ニ謀テ。人ト關毆シ。偽テ中裁ト称シ。財
物ヲ勒要スル者ハ。首從ヲ分タズ皆中追放。傷ス

ル者ハ皆死罪。享保二十

偽造小道具、竈財、

凡同夥俱ニ謀テ、賣人買人トナリ。金銀ノ小道具、
并ニ珊瑚珠等ノ偽造物ヲ途上ニ陳列シ。往来ノ
人ニ勸メテ強賣シ財ヲ取ル者ハ。皆黥ノ上中追
放。元文五例

犯 夫

其主人妻女
新扶木町
永之助等
又四郎等

（白米屋）
松野
三十四才

此方儀、代々ハ
之親密通不慮
付所申引出シ
死罪ナリ

新扶木町
永之助等

ハヤシ
三十三才

此の御主人等
小等子又四郎等
新扶木町

犯姦律

犯 夫

凡和姦夫アル者ハ。各死罪。妾モ同シク論ス。媒合
及ビ溶止シテ通姦セシムル者ハ。中追放。若シ婚
約己ニ成リ。未タ夫家ニ入ザル者ハ。姦夫ハ輕追
放。姦婦ハ剃髮。強姦スル者ハ死罪。夫ナキ婦女ヲ
強姦スル者ハ。重追放。衆強姦スルニ。夫ノ有無ヲ
論セズ。造意ハ梟示。從ハ重追放。幼女ヲ姦シテ折
傷スル者ハ流刑。強姦死ニ致ス者ハ梟示。寛保三
凡和姦夫アル者。屢バ艶書ヲ往復スルト。虽モ未

動又四布

女主人妻女

申分

享祿十二年
未二月廿五日

親族相共

保川諸所

渭水

みねのふた

可とは五つあり

南
打
是
人
生
所
常

...

若シ奴僕奉公人。主人、妻ヲテヒキ媒合通_スセシムル者ハ。死罪。女ヲ媒合通_スセシムル者ハ。本籍逐_ニ釈_ス寛保元

人ノ女ヲ苙スル者ハ。苙夫ハ申追放。苙婦ハ手鎖

凡奴僕奉公人。主人ノ妻ト姦スル者ハ。蒸夫ハ引

廻シノ梟示^ス。茲婦ハ死罪。強^ス茲スル者ハ磔。若シ主

親族相_ヒ姦_ス

學之遠取

無之。故曰。自撓。

申付品松亭右近

如監殿依舊善

國以反遠為

三

僧徒犯法

寺社奉行
與次名守

劇終

谷中曰遠宗
延命堯

日道

其方候一寺仁職

た各身分を以て不慮

而妹夫人又と云ふ者

子金小

日曝市ノ上其本山觸頭ニ下附シ寺汰ニ行ハシ

ハ主人ニ下附シテ存意ニ隨シム。寛保四

入シテ婢女ヲ為スル者ハ茲夫ハ本籍逐釋。茲婦

存意ニ隨シム。若シ他ノ奴僕奉公人。他ノ家ニ潛

凡奴婢奉公人。和氣スル者ハ各主人ニ下附シテ

下。寛保二

若シ姉妹。伯母。姪。ヲ莖スル者ハ。各遠國ノ非人ヲ

凡養母養女。及ビ子孫ノ婦ヲ立スル者ハ。各梟示

僧徒犯茲

凡僧徒。女犯スル者ハ。住職ハ流刑。住職以下。公三

日曝市ノ上其本山觸頭ニ下附シ寺汰ニ行ハシ

欽定四庫全書

卷之下

廿二

陸原氏藏板

部居下女ころ
屋形向お勤り高
三人に親事をも
官に女系流外
遂に命を絶て
抑て女系内止
宿妹ころ服時
うに影隠し
葉をき 楚破
戒無悲し所外
か寺内作りて
奉初原主
柳を引違録
建るうの女
不中 至死
中分

ム若シ夫アル女ヲ其スル者ハ。任職以上以下ヲ
問ハズ梟首。茲婦ハ本罪ヲ以テ論ス。享保六〇元文四
〇寛保二
若シ同歟ヲ謀ル者ハ。若婦己ニ死シテ玄僧未タ
死セザル者ハ死罪。

私窩

延享二年極

凡私娼ヲ街賣スル窩主ハ。田宅家財ヲ官没シテ
百日手鎖。再犯スル者ハ江戸逐釋。媒合容止スル
者ハ本籍逐釋。婦女ハ親族ニ下附ス。無告ノ者ハ
ミヨリヤキ
三箇年新吉原ニ發遣シ。遊女トナス。婦女ノ牙保
及ビ人主ハ家屋財産ヲ官没ス。再犯スル者ハ江

一高物をも出
秋後世の事
同心せざる事
但飢喝し人主
婦や合意な女
けすて盗ま
悪事せしめ
糾明しな

戸逐釈。家守ハ。應身代過料ノ上百日手鎖。鄰佑ハ
過料。里正ハ重過料。地主ハ五箇年ノ其地面ヲ官
ニ納ル。情ヲ知ラザル者ハ坐セズ。享保
七 若シ其妻
妾ノ肯シセザルニ。強テ私娼トナス者ハ死罪。享
保
八〇元文二〇全五〇延享二

雜犯

拆毀揭榜場

凡揭榜場ヲ拆毀シ。及ビ板榜ヲ毀スル者ハ。首ハ
笞ノ上江戸逐釈。従ハ笞ノ上本籍逐釋。要永例

私藏銃砲

凡私ニ銃砲ヲ藏スルニ。己ニ放ツ未タ放タザル
ヲ論ゼズ。江戸十里四方及ビ發放制禁線内ノ者
ハ流刑。江戸十里四方。及ビ發放制禁線外。關八州
内ノ者ハ。中追放。關八州外ノ者ハ。本籍逐釈。私藏
者居邨ノ里正。班頭ハ。私藏者流刑ニ詎レバ重過

料。中追放ニ詎レバ。急度叱リ。鄰佑ハ私藏者流刑
ニ詎レバ過料私藏者江戸十里四方内ノ者ナレ
バ其居村ノ總百姓ハ輕過料。發放制禁線内ノ者
ナレバ其居村ノ總百姓ハ過急トシテ壹箇年鳥
見役ヲ課ス

賭博

凡輕微ノ財物ヲ賭シ實引。及ビ骨牌ヲ為ス者ハ。
皆笞。賭房主モ同ク論ス。五十文以上ヲ賭スル者
ハ。賭博ヲ以テ論ス。享保六創定。寛政六三月改定以下皆然リ
凡賭博廻リ箇ト否トヲ論ゼズ。皆重笞。賭房主モ

同ク論ス。其賭房主ノ家守ハ應身代過料ノ上仍
ホ百日手鎖。同地主ハ五ヶ年間其地面ヲ官ニ納
ル。其兩隣鄰佑ハ應身代ノ過料。享保十一。延享元。寛政六。
其里正ハ五貫文。其家並ハ三貫文。各過料。
凡賭博ノ箇取ヲ以テ業トスル者ハ。流刑。箇取賭
博ノ房主モ同ク論ズ。其家守。地主。兩隣鄰佑。里正。
家並ノ各皆凡賭博條ニ依ル。享保十一。延享二。
凡賭房ニ入り。傍觀シ未タ財物ヲ賭セザル者ハ。
急度叱リ。文化二。飲食ヲ鬻ク者ハ。三貫文過料。寛政例。
凡三笠附ノ賭博ヲ為ス者ハ。点者及ビ。資本主ハ

并ニ流刑。句拾ハ家賊ヲ官没シテ非人手下。其賭
房ヲ開張スル者ハ。其列ニ與カラバト雖モ點者
ト同罪。其家守。地主。兩隣。鄰佑。里正。家並。各皆凡賭
博條ニ依ル。同上。

凡同夥ノ者ヲ扶助スル為ト称シ。賭博ヲ開張シ
募集スル財ヲ竊ニ分ツ者ハ。流刑。其賭博開張及
ビ金子募集ニ周旋セバト雖モ財ヲ分ツ者ハ。中
追放。
凡金二三兩ヲ賭シテ。圍碁將碁ヲナス者ハ。各中
追放。

凡主人。父母。賭博ヲナシ其奴婢奉公人。及ビ子孫。加入ヲ強誘セラレテナス者ハ。賭博ハ五十日手鎖。室引骨牌ハ三十日凌錮。

凡賭博ニ用フルイ骰子ノ内。巧手ノイ骰子ヲ製スル者ハ。黥ノ上重筈。

凡博戲ニ用フルカ骨牌ヲ賣ル者ハ。江戸逐釋媒介シテ買興フル者セ。亦同罪。

取退無盡

凡取退無盡ヲナス者ハ。催主ハ流刑。加入スル者ハ。応身代ノ過料。乃至五貫文三貫文ノ過料。寛保元

寛政四年九月廿

武家。其家屋ヲ貸ス者ハ。其列ニ與ラズト雖モ。催主ト全罪。券札ヲ賣ル者ハ家屋ヲ官没シテ非人手下儀振。及ビ一般ノ周旋ヲナス者ハ。家財ヲ官没シテ江戸逐釋。催主及ビ家屋ヲ貸ス者ハ。家守。地主。兩隣。鄰佑。里正。家並ノ咎。皆凡賭博條ニ依ル。享保十一寛保元

武家賭博

凡武家輕微ノ財物ヲ賭シ。室引及ビ骨牌ヲナス者ハ。徒士以上ハ流刑。以下ハ江戸逐釈。賭博ヲナス者ハ。尊卑ノ論ゼズ一骸ニ流刑。

僧徒賭博

凡僧徒輕微ノ財物ヲ賭シ。寶引。及ビ骨牌ヲナス者ハ。三十日凌錮賭博ヲナス者ハ。住職ハ。法衣ヲ褫奪シテ中追放。所化以上ハ。全重追放。所化ハ同輕追放。三犯以上ノ。全中追放。

失火

凡火ヲ失シテ。自他ノ宅舎ヲ燒ク者ハ。小間十間
以下ハ其咎ヲ科サズ。寺社ハ七日閑住。小間十間
以上ハ。戸數ノ多寡ニ數テ十日ヨリ少ナカラズ。
三十日ヨリ多カラザル凌錮。若シ御成ノ日。出御

ヨリ還御マテノ間ニ火ヲ失シテ小間十間以上
ヲ燒ク者ハ五十日手鎖。其地主家守。月行事ハ各
三十日凌錮。鄰佑ハ二十日凌錮。還御ノ後ハ平生
ノ失火ヲ以テ論ズ。特^ク夕寺社ハ十日凌錮。

放火

凡火ヲ放テ故ラニ。公廳倉庫。及ビ民舎ヲ燒ク者ハ火罪。未タ燒燬ニ至ラサル者ハ。引廻ノ上死罪人ニ依託シテ放火スル者ハ本罪ニ問ヒ。受託スル者ハ死罪。放火ヲ傍觀シテ告ガル者ハ。五十日手鎖。

凡瘋癲火ヲ放テ自他ノ宅舎ヲ燒ク者ハ。全ク其罪ヲ免シ咎ヲ親族ニ料ス。

田沼主殿御書

凡^{バカ}痴^{モリ}呆^{ハヤ}。及^{キタ}ビ^テ放^モ心^{ホヘ}ニテ感^{カン}覺^{カク}ノ關^カク者。火ヲ放テ自

一火消人穀集此或
面而放之附火可

他ノ宅舎ヲ燒ク者ハ並ニ流刑。安永五例○文政四例

段と火を附本に就
少推ししに返るる

若し奴婢奉公人。主人ノ放逐スル所トナリ止タタ

又習波捕（一）處
附の

失火ニ乗レテ。再勤ヲ請ント壺リヒツ纔ニ火ヲ放ツ

少傳馬丁三自
利友而之者
仕國之年者

者ハ情ヲ量リ流刑。文化六例

第十六卷

凡失火ノ際、トウキヲ全居ノ祖父母父母ヲ燒死ニ致ス者

ハ死罪。兄姊伯父伯母ヲ燒死ニ致ス者ハ。中追放。

凡放火セント圖リテ火器ヲ造作スル者ハ流刑。

安永
例 若シ放火スベキ旨ヲ書シテ其市邨ニ糊シ

人心ヲ疑惑セシムル者ハ。江戸十里四方追放。永安

六例

敬發

凡放淫ニテ市村ヲ紛騷セシムル者ハ。皆ノ上本

藉逐叙。若シ自他ノ市村ヲ問ハズ。各所ニ於テ屢

バ致滯スル者ハ筈ノ上中追放。寛保如シ只々放

潑ニ因テ人ノ物品ヲ破毀スル者ハ數ヲ檢シテ

賠償セシムル止マ^ル。無力ナル者ハ本籍^ノ逐叙。

凡諒闇。他界等ノ一ニ因テ。三絃琴鼓絃テ鳴物ヲ

停止スル制内於テ放溺シ。及ビ諸物品物ヲ打毀
シ謹慎ノ態ナキ者ハ並ニ江戸逐釈。安永三例
凡婚禮ヲ行フ家ニ瓦礫ヲ投シ放溺スル者ハ首
ハ百日手鎖。從ハ五十日手鎖。因テ傷ニ致ス者ハ
蘭段ヲ以テ論ス。

得遺失物

凡市村ニ醉倒スル者。其市村ノ吏入ノ介抱ヲ受
ケ乍ラ却テ放溺スル者ハ。皆ノ上江戸逐釈。享和
三例
凡遺失物ヲ得レバ。必ス官ニ送ルベシ官物ハ全
ク官ニ入レ。私物ハ金錢ハ一半ヲ其主ニ給シ。一

半ヲ得ル人ニ給ス。家畜。器品。織物。等ハ全ク其主
ニ給シ。相當ノ謝儀セシム。如シ三日間拾ヒ得ル
市村ニ榜示シ。其主ナケレバ尚ホ六箇月ヲ拘置
シ。其主ナケレバ全ク給ス。若シ官ニ送ラザル者
ハ過料。享保六

凡遺失ノ物品ヲ得ルニ。盜賊ニ係ル物ハ直ニ其
主ニ還附シ止ダ受領ノ證ヲ得ベシ。若レ遺失物
ノ主。武家家人ナレバ其重役ノ申稟ヲ待テ後チ
還附ス。文化八例

犯禁宗

凡禁宗ノ不受不施。及ビ三鳥派等ヲ敷教スル者。徒弟トナル者。及ビ宅舎ヲ貸ス者ハ。並ニ流刑。若レ改宗スル證蹟ヲ顯然挙ルニ於テハ重追放。其敷教スル者。在俗ノ者ニレテ改宗スル證蹟ヲ顯然挙ルニ於テハ。本籍逐釈。敷教ニ周旋スル者モ亦全罪。

百姓町人私帶刀

凡百姓町人。私ニ帶カスル者ハ。刀ヲ官没シテ。輕退放。

蠱惑人

凡奇怪ノ異説ヲ唱テ人ヲ聚令スル者。及ビ宅舎ヲ貸ス者ハ。並ニ江戸逐釋。周旋スル者ハ本籍逐釋。寛保ニ

無宥

式七

凡主守ノ罪囚ノ逃走スルヲ覺ラザル者ハ中追放
其罪囚ノ逃走スルヲ覺ラザル者ハ中追放
其罪囚ノ逃走スルヲ覺ラザル者ハ中追放
其罪囚ノ逃走スルヲ覺ラザル者ハ中追放
其罪囚ノ逃走スルヲ覺ラザル者ハ中追放
其罪囚ノ逃走スルヲ覺ラザル者ハ中追放
其罪囚ノ逃走スルヲ覺ラザル者ハ中追放
其罪囚ノ逃走スルヲ覺ラザル者ハ中追放
其罪囚ノ逃走スルヲ覺ラザル者ハ中追放
其罪囚ノ逃走スルヲ覺ラザル者ハ中追放

捕亡

脱獄

凡罪ヲ犯シ、囚禁セラレテ脱獄シテ逃走スル者
ハ。各本罪ニ一等ヲ加フ。寛保ニ
其罪囚ノ逃走ノ変ニ因テ解放シ。三日ノ内投歸ス
ル者及ビ同牢ノ囚人脱獄スルヲ知テ首報スル
者ハ。各本罪ヨリ一等ヲ減ス。

主守不覺失囚

凡主守。罪囚ノ逃走スルヲ覺ラザル者ハ中追放

流入逃

凡流刑ニ所セラレシ者。島ヲ脱シテ逃走スル者
ハ。其島ニ於テ死罪。

追放歸住

凡追放ニ所セラレシ者。其追放線内ニ歸住シ。及
ビ徘徊スル者ハ。各本罪ニ一等ヲ加フ。若シ追放
ノ宣告ヲ甘結シ。直ニ追放線外ニ去ラザル者ハ
黥ノ上仍ホ本罪ニ一等ヲ加フ。

隠匿罪囚

凡火罪。及ビ行兇。強盜。等ヲ犯シタル罪人タル事

町奉行牧野大
町奉行牧野大
町奉行牧野大
町奉行牧野大
町奉行牧野大
町奉行牧野大
町奉行牧野大
町奉行牧野大
町奉行牧野大
町奉行牧野大

本罪一考
和九辰年

ヲ知テ隠匿シ。或ハ逃走スル道路ヲ指引シテ他
所ニ隠避セシムル者ハ。死罪。元文五

若シ闘毆ニ因テ人ヲ故殺シタル罪人ノ依頼ニ
依リ。義氣ニ因テ隠匿シ。及ビ逃走セシムル者ハ
急度叱リ。元文五

凡追放ノ者タル事ヲ知ラズト雖モ。其戸籍ヲ結
サス店請トナル者。及ビ家店ヲ貸ス者ハ。並ニ過
料。

刪黥

凡黥ヲ刪ル者ハ。更ニ黥ノ上。各本罪ニ一等ヲ加

フ。黥者ノ依頼ヲ受テ。為ニ刪ル者ハ。答。延享ニ

私解手鎖

凡己ニ決シテ手鎖ニ所セラレシ者私ニ解ス者
ハ其手鎖定數日ニ一倍ヲ科ス。若シ未タ罪状決
セズ。研訊中手鎖ナル者私ニ解セハ百日手鎖仍
ホ本罪ヲ科ス。若シ手鎖ヲ解シテ逃走スル者ハ
各本罪ヨリ一等ヲ加フ。其手鎖咎人ノ依頼ヲ受
テ解ス者ハ。過料。如シ因テ逃走スレバ受託者ノ
輕追放。其家守ハ重過料。延享元。寛保ニ

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六	九十七	九十八	九十九	一百
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

大宰舎内圖



囚獄人饒舌ノ所謂牢名主ナル者、新入
陽世うら去來ガ法た。大柵殺メ。天殺的斜頭を下
ヤアガれ。牢獄内ハ首首御角役様だぞエ。壹番位
ニ列位ヤアガつた。壹二壹六壹候とり。大坊主野郎
メ。偏的やうナ大柵殺ハ。夜盗と不能為メ。放火
不能為。破毀倉庫明松をいけ碌々的ハ振へえ名。
本田髪。銀煙管。櫛や笄。髻差の白撞兒を為ア
つたて。大衆で申事。ぞく。如斯更ぢやアある
り名。又ハ堂社金。本尊。橋梁の飾鐵具。引剥
ヤアうつて通り古鐵買へ。真鍮錢の下馬。小安

く賣與ヤアうつて二文三文の骨牌たう。薩摩昔
諸の白食。夜發の白招てを為アがつて。兩國橋
を東往西來躊躇て。大屋の初るいも源。付出さ
れて。去來うツたらふ。直な杉樹曲。松樹可厭風
こを靡うんせと。官廳にて申を通り。明白具狀
詰か。人詰。ハ大小便をあらを云
是新入的陽世。ヤア何と叫。那と叫。う。厠室と
叫。う。う。開陽世。ヤア。後下とも。厠室とも。叫。ふ
ら。牢獄内。ヤア。名。異り詰。の神様と叫。ふ。詰。ふ
ハ。本番本助番として。二人役。ガ有て。日。三度夜。二

三度鹽磨きと為ところど。穴の真向撥ッて。豎八寸。横四寸。前より打つて隠囊より廻り打つて抹香縁其抹香縁へ。尿ても尿水でも出恭やア。里やア。你的が陽世より着て来一枚襦袍で拭せよやア。ろろね。夫も尿でも尿水でも出恭たきやア。摧兵衛あら摧兵衛。八兵衛あら八兵衛。偶的姓名名乗て借やア。がれ。夫も二人役の受答の無うち。骨董舗の神酒瓶。六尺棒を呑ど。人足を見たりやう。如意きり立をして居ると牢獄格式の墨刑罪申し附ぞ。

擯鼻禪申し付

昨宵来と新入。これ偶的とのハ陽世トやア。何と叫ぶ帶と云う禪と叫ぶ。よく聞け。陽世トやア。帶とも禪とも叫ぶ。牢獄内トやア。名が異なり帶の事ハ長もの。禪の更ハ細ものと叫ぶ。其を向ふ通。又へ携て往て。いけ無禮的。ふり廻り全座の相。四人が首ても縊ると。你的抵成。こあら。やア。あらね。你的が糺明被仰附。御奉行様。うら出牢。證文の来る迄ハ。肌身離さ。定然守ッて。みろ。

新入疊の端を付る吏

昨宵來と新入牢獄の規則申し附る。聞て置け。牢獄の初めう。元と來う。元と來え。初て來も疊一疊々々。格式有之。嚴格い所。備的。昨宵這入と所。御戸前口と。獄屋門と。叫ふ。那裏を入か否や。拾も二拾も三拾も撲て撲投り出。て為と被為。こと有が。拾二人御役人。撫恤を以て為も被為。もさらぬぞ。你的が。昨今寸間待天明と所。無宿の大牢の落間たア。那處這入が否や十日や二十日五十日百日で上る處トヤアねへ。牢獄内ハ先年より。格式有て。下座の牢人。上座

の牢人。ごき口の御牢人さん。彼的も陽世トヤア。謹慎的。若者タツテ。疊の端を御願ひあされ。今朝ま。牢の御角役様。御願申して。疊の端へ出。て遣疊の端へ出。てヤア。你的懸り。ヤア。本番本助番と叫ふ。役人の指圖。從ひ。唯々と云て。働う。ヤア。あらねへ。働と云て。陽世。偷兒。白撞。兇。薪を割。て。米を搗。て。如斯。る。忙裡。ト。ヤア。ねへ。今。宛る。ケ。夜。一時の。草履番。夫を。謹慎。相守。る。夫。陽世の。氣質。を出。て。向。ふ。通り。同座の。囚人。を。相手。どり。喧嘩。口論。グ。ま。き。度。で

もろと牢獄内格式の所刑を申し附る牢獄内
ハ段々所刑の多い所ぞ滅惣仕置ニ海老手鎖三
足手鎖セヤハツケ段々撲て一撲廻くまも
所刑の多い所。你的が御奉行様うら出牢證文
の来る迄ハ日ニ二本の滅惣飯を喰て謹慎ニ
てある。爾的もまど素人の夏白ひ黒ひの深い
御禮も知めへ。你的が懸りハ本番さん。本助番さ
んの紹介を以て牢人さん遇て。御礼申して貰
へ定然申付ぞ。手を上げて座ニ居ろ。

二番役同志挨拶の事

是れ御隣の二番役様。諸今朝も結構な御天氣ニ
つきまゝて。御互ニ朝声。清早と相懸りまゝて悦
び御訴と仕まゝて。私の方名主。頭御隠屈角役隠
居拙者下役共。具きニ申し聞やまゝた。

食時の事

上座の牢人衆まど滅惣も中下膳も碌ニヤア食
まひまゝ。御隠居さん。御願ふされて御角役さん
か座をろく小居と仰しやるうら。ろくニ居ろ

曉七ツ半時

詰ろ一羽目通り詰ろ一。役人衆牢人衆詰ろ

番衆詰洗の水をふちこんでハあらぬぞや詰ろ
羽目通り詰ろ。夜が明る。御役人衆御牢人衆
牢獄内の規則書ヲ明白と見へてハあらぬぞや
詰の羽目通りごき口前の御牢人衆方上座の牢
人さん方。下座の牢人衆。助番坐。目ヲ覺して
うりやうぞや。詰ろ。総役人衆御牢人衆御
戸前の鍵ル鞆戸の鍵ルちんやう。わつて
いふらんぞや。詰ろ。羽目通り詰りまいたア。
詰りまいたア夜が明たア。

赦宥ノ典

凡赦宥ハ上野或
ハ芝増上寺於
テ之ヲ行フ申シ
渡シニ曰ク

何某

同

其方其減成罪

流罪もこの成

罪のふれども此

度減法事

赦申付度ニ鳥

目五百文ヲ被下

新有う存

○同引援

本罪赦宥條並圖

凡柳營社參及ビ佛事供用アレバ本罪成刑ニ該
ル者ノ内其犯跡已テ得サルニ出ルト雖モ赦宥
ノ理情ナキ者ハ其典ニ因テ二人乃至三人本
罪數等ヲ減或ハ赦免ス

東京府平民 田島象二

明治十二年十二月五日版權免許

同 十三年十一月十二日出 版

編纂者

東京府平民

田島象二

出版人

東京府士族

荏原惣七

發賣人

東京府平民

吉川半七

日本橋區本石町
三丁目十四番地

京橋區南傳馬町
壹丁目十二番地

大坂

松村九兵衛

同

柳原喜兵衛

同

前川善兵衛

同

大野木市兵衛

西京

佐々木惣四郎

同

田中治兵衛

神戸

鳩居堂

名古屋

片野東四郎

淡路坂本

福浦文藏

駿州静岡

勝見儀助

上總東金
武州埼玉
上州高崎
武州横濱
東京

能勢嘉右衛門
長島為一郎
高橋常藏
丸家善八
北畠茂兵衛
稻田佐兵衛
山中兵衛
丸家善七
北澤伊八
東生龜次郎

石川治兵衛
山口藤兵衛
内藤傳右衛門
牧野吉兵衛
山中孝之助
覺張榮三郎
穴山篤太郎
須原錢二
坂上半七
博聞社

